

最後まで無罪絶叫

こころ然、江青被告

退廷にも寝転んで抵抗

【北京二十五日 近藤特派員】 大声で叫んだ江青・毛沢東夫人はがらりとした廷吏に腕をつかまれ、その腕に冷たい手錠がくい込む。張春橋元副首相は相変わらずひげ面で、黒い人民服のえりボタンをはずし、無表情に立つ。二十五日に行われた「林彪・江青反革命集団」判決公判の模様は、同夜七時二十分（日本時間同八時二十分）から全国にテレビ放映された。約二十分間の特集番組である。



25日、死刑判決を受け文革路線支持を叫ぶ江青被告—A P

江青被告は、昨年十一月二十日の開廷当時に比べ、やや緊張気味の豪華な会議室で内外の代表と会見し、宴会には、中国の有名な中国式イブニングドレスを着込んで参加者をアッとさせた昔年の栄華は、「革命無罪」（革命に罪はない）を叫ぶ黒い人民服姿の彼女からはもうかたがたはなさない。テレビ画面では確認でき

ないが、ほかに「違反有理」修正主義反対」など叫んだといふ。 次の時代を背負って立ち上り、スと騒がれた王洪文被告は裁判開始時の丸刈りから髪を伸ばし、「言うべきことは言った。あとは善処を望むのみ」といった表情で被告席に着く。切れる理論家とは似ても似つかないぼうぼうとした風情の姚文元被告は目をつぶったまま宣言を待った。

「私は主犯ではない」と主張した黄永勝元軍総参謀長はいっそう老け込んだ様子。「イエスマン」のあだ名をテレビの視聴者から付けられた真法憲元空軍司令官は、気の弱い性格をむき出しにおどおどした様子で最後の審判の下るのを待った。

【香港支局二十五日】「林彪・江青反革命集団」の判決公判を傍聴した中国勝が二十五日、香港に伝えたところによると、死刑判決が下り、手錠をかけられたとたん、江青被告は「革命無罪」と叫んだ。江華裁判長の命令で廷吏が連れ出さそうとする、身をよじらせて抵抗、法廷の床に寝転がるようにして抵抗した。このため、女性の廷吏一人が男性係官の助けを借りて江青被告の首を押し上げると、廷外に引きずり出したといふ。

【日本にも衛星中継】二十五日の林彪・江青反革命集団に対する判決公判の様子は、同日午後八時過ぎから七分三十秒にわたって日本に衛星中継された。江華裁判長の判決文の朗読が続く。十人の被告たちの顔をカメラが追う。中央に座った江青被告は、こころ然と足を組んでいる。「立ちなさい」。裁判長のかん高い声に十人の被告が立った。裁判長が刑を宣告すると同時に江青被告、張春橋被告の手に、それぞれ手錠がかけられた。外電は、退廷する江青被告が寝転がって抵抗したと報じたが、その場面はなかつた。

中国の最高人民法院・特別法廷は二十五日、「林彪、江青反革命集団」裁判で、江青被告と張春橋被告に執行猶予二年付きの死刑（終身政治権利はく奪）などの判決を言い渡した。江青被告らが即時処刑される事態こそ免れたものの、政治色の濃い判決はあらためて中国の政争の激しさを見せつけている。この判決をどう受け止めたか、各界に聞いた。



現代化に汚点を残す

中嶋雄雄東京外国語大教授（現代中国）
 敷く側にとっては不安な裁判であり、妥協の判決だった。文革中に党員になった者は多いし、裁判から見て一貫して罪を否認した江青、張春橋被告の態度は共感を呼んでもいい。おまけに告発は一方的で、悪い判決だった。中世の魔女狩りのような印象を受ける。

文革の意味 付けに決着

竹内実子大教授（現代中国）
 江青、張春橋被告については、ほぼ予想した通りだった。政治目的を果たしたことになる。た。しかし、想像を絶する知識人迫害をした文化大革命の理論的切しなかったのは、①指導者としての自身のイメージアップをねらい②文革中に入党した大量の党員の反発を避け③毛沢東批判によって

被告に十分な弁護の機会も与えていない。江青被告は正式に党大会、中央委員会で選ばれたリーダーだったはず。民主的司法体系をうたいながら、その第一歩で理不尽な政治裁判をしたことは、これからの四つの現代化の前途に汚点を残したことになるのではないか。中国の権力中枢は、まだ不透明な部分が多い。華氏をどう処断するか、今後、公の席で毛沢東の責任をどう追及して行くのか。理念こそ決着がついたとはいえ、文革全体の決着はまだついていない。

「妥当な判決」 民衆評価

【北京二十五日 近藤特派員】「林彪・江青反革命集団」裁判の判決公判は零下二五度の厳しい寒さの中で開かれた。天安門前の歴史の判決の舞台となったが、この日の公判開廷は、前後、テ

乗用車、バスが次々と同博物館北門前に到着、八百人を超える傍聴人が法廷へ入っていった。この日の公判開廷は、前後、テレビ、ラジオのニュースで伝えられたため、街行く人々も、その結果に関心を寄せていた。午後、市民に人気のある夕刊紙「北京晩報」が中国の新聞としては異例の早さで判決内容を一面トップで報じ、市民たちが喜ばい合うかっこうで、同紙に目を通す姿が見られ



John R. Gow カナディアン・ロッキーのサンシャイン・スキー場副総支配人。上級コーチの資格を持つ。34歳。

何でもない。いい登山者だ。岩登りも難しいことはない。七一年から八年間、カナダ登山ガイド協会の会長をつとめる。 今回の来日は、この四月、彼のスキ場で開催される国際障害者大会に日本選手を参加を勧誘するため、大阪、京都などを回って友人と旧交をあたためる。 「カナダへ日本のスキーヤーが